

日本水道協会認証センター登録品（仕様欄青色太字）



1 減圧弁 (液体用)

- 低騒音形ですから流水騒音の心配はありません。
- 接液部は CAC 及び SUS 製ですからさびの心配は不要です。
- ストレーナを内蔵(呼び径 15~100)していますから、入口側のストレーナは不要です。
- 取付姿勢は水平配管・垂直配管のどちらでも使用可能です。
- バランス形構造ですから、一次側圧力の変動の影響をほとんど受けません。
- 弁体に合成ゴムを使用しているため、弁閉止時の止りは良好です。
- 弁箱出口側（両側）には圧力計取付け用タップ穴が設けてあります（呼び径 15 ~ 25 は片側）。

仕様及び材料

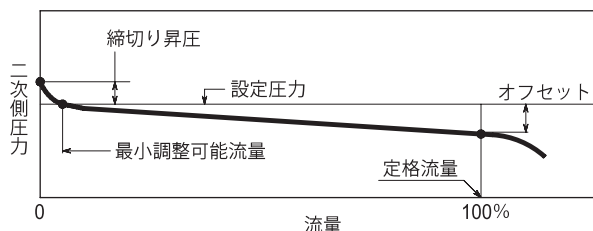
流体	呼び径	圧力 MPa		温度 °C	主要部材料				管接続							
		一次側	二次側 設定範囲		弁箱	弁体 ダイヤフラム	弁座	弁棒	圧力計 取付け穴	ねじ込み形	フランジ形					
水 温水 その他の 非腐食性 液体	15~25	0.08 } 1.0	0.03 ~0.15	0 } 90	青銅	合成ゴム	青銅	青銅又は ステンレス鋼	JIS Rc1/4 めねじ	JIS Rc めねじ	—					
	32~50		0.1 ~0.7													
	65・80		0.5 ~0.95													
	100	0.03 ~0.15	JIS Rc3/8 めねじ						—	JIS 10K 全面座						
	125	0.035~0.3														
	150	0.2 ~0.55														
	15~25	0.08 } 1.6	0.03 ~0.15						0 } 90	青銅	合成ゴム	青銅	青銅又は ステンレス鋼	JIS Rc1/4 めねじ	JIS Rc めねじ	—
	32~50		0.1 ~0.7													
	65・80		0.5 ~1.0											JIS Rc3/8 めねじ	—	JIS 16K 全面座
	100		0.03 ~0.15 0.1 ~0.7													

備考 日本水道協会認証センター登録品は、仕様欄の青色太字の組合せ製品となります。

性能

呼び径		15~25	32~50	65~100	125	150
オフ セット MPa	0.03 ~0.15	0.05以下	0.07以下			
	0.1 ~0.7	0.07以下	0.1 以下			
	0.5 ~1.0	0.1 以下	0.15以下			
	0.035~0.3			0.07以下		
	0.2 ~0.55			0.1 以下		
	0.035~0.4				0.07以下	
最小調整可能流量(水)		0.5 ℓ/min	2 ℓ/min	5 ℓ/min		
最大減圧比		10 : 1				
締切り昇圧		0.02MPa				
弁座漏れ量		定格流量の0.01%以下				
最小設定差圧		0.05MPa				

流量特性図



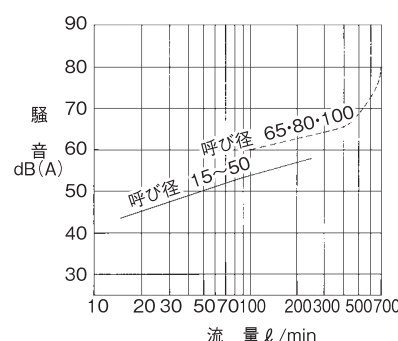
Cv値

呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150
Cv	1.8	2.6	3.9	6.3	8.3	13	21	26	40	70	109
最大流量(水) ℓ/min	30	55	85	120	150	250	350	450	700	1200	1800

弁容量（定格流量）は、Cv値によって計算された流量 $Q = \frac{Cv \times \sqrt{\Delta P}}{0.696}$ と最大流量の小さい方の値となります。なお、 ΔP は弁前後の差圧（kPa）です。

騒音特性

一次側圧力 0.6MPa、設定圧力 0.2MPa において、暗騒音 30dB(A)、測定距離 15cmの条件での実測値を示しています。
一次側圧力 0.6MPa、設定圧力 0.2MPa 以外の場合の騒音値は、この線図とは異なります。

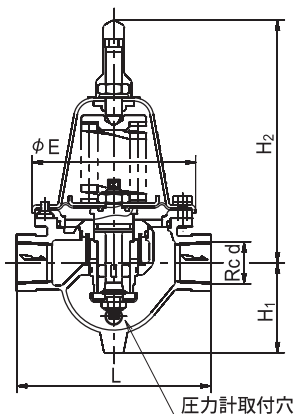


P100-3Y型 減圧弁

構造及び寸法

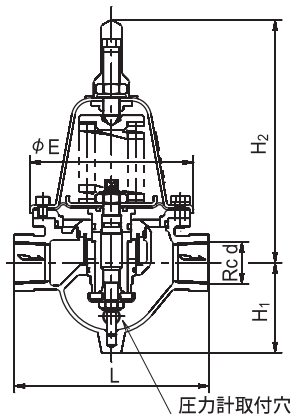
呼び径 15~25

一次側圧力 1.0MPa以下用



呼び径 15~25

一次側圧力 1.6MPa以下用

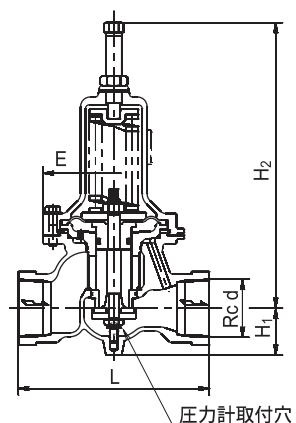


(mm, kg)

呼び径	d	D	L			H ₁	H ₂	E	質量	
			ねじ 込み形	フランジ形					ねじ 込み形	フランジ 形
				JIS 10K	JIS 16K					
15	1/2	—	120	—	—	56	150	100	1.8	—
20	3/4	—	120	—	—	56	150	100	1.8	—
25	1	—	125	—	—	52	153	100	2	—
32	1 1/4	32	165	175	175	40	243	130	5	8.5
40	1 1/2	40	170	190	190	40	243	130	5.5	9
50	2	50	195	195	195	48	292	145	8	12.5
65	—	65	—	215	215	72	325	176	—	21
80	—	80	—	230	260	72	325	176	—	22
100	—	100	—	260	290	83	390	200	—	30
125	—	125	—	310	—	107	488	250	—	67
150	—	150	—	380	—	115	651	320	—	102

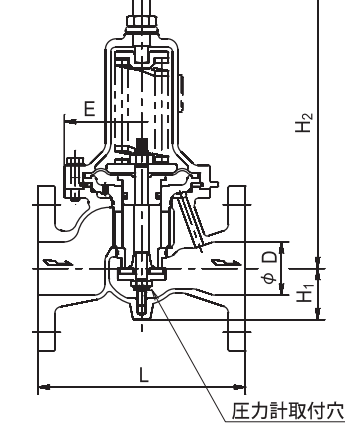
呼び径 32~50

ねじ込み形

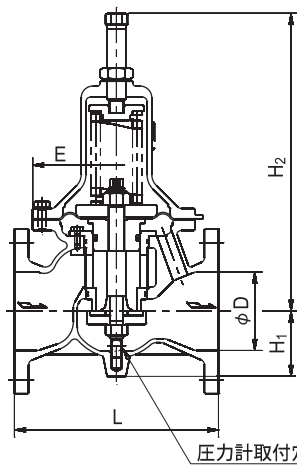


呼び径 32~50

フランジ形



呼び径 65~150



配管例

1. 配管の際は、下図を参考にしてください。
2. 呼び径125・150は、ストレーナを内蔵していませんので減圧弁の一次側にストレーナを設置してください。
3. 保守・点検時、弁箱を配管に取付けた状態で分解・手入れをするために配管中心から上方に下表に示すスペースが必要です。

(mm)

呼び径	15~25	32・40	50	65・80	100	125	150
分解スペース	210	400	470	500	600	700	1100

